

市立幼稚園における特別支援教育等 に関する検討委員会

<第1回会議資料>

令和3年(2021年)5月21日(金)

午前10時～

熊本市役所 駐輪場 8階会議室

熊本市教育委員会

市立幼稚園における特別支援教育等に関する検討委員会

議 事

I 検討会議の趣旨・目的

市立幼稚園の現状と課題を踏まえ、市立幼稚園の役割を明確にした上で、特別支援教育の充実を中心とした今後のあり方や運営方法について議論し、令和 3 年度(2021 年度)に策定を予定している新たな市立幼稚園基本計画に反映するもの。

本検討会議は、熊本市附属機関設置条例に基づき、市立幼稚園における特別支援教育等に関し、教育長からの諮問事項について、必要な事項を審議する教育委員会の附属機関。

2 本市の現状

(I) 市立幼稚園における特別な教育的支援が必要な園児を受け入れる割合が増加

園によっては特別な支援を要する園児を 2 割以上受け入れているほか、外国籍の園児の受け入れニーズにも対応している。

(令和 3 年(2021 年) 4 月 1 日現在)

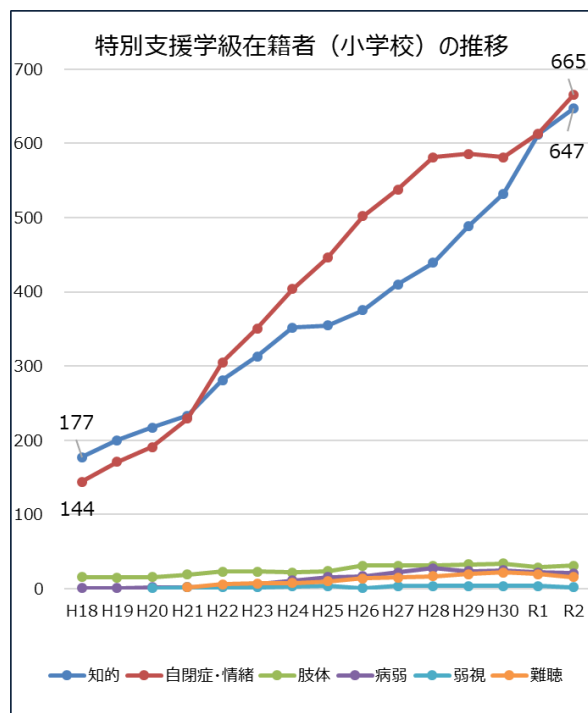
園 名	定 員	全園児数 ① (A+B+C)	特別 支援 A	外国籍 B	特支・ 外国籍 除く C	特別支援 割合 A/①	特支・外国籍 割合 (A+B)/①
碩 台	90	29	3	6	20	10.3%	31.0%
一 新	176	48	5	0	43	10.4%	10.4%
向 山	125	40	10	0	30	25.0%	25.0%
川 尻	90	35	6	0	29	17.1%	17.1%
楠	125	30	5	0	25	16.7%	16.7%
隈 庄	180	93	9	0	84	9.7%	9.7%
合 計	786	275	38	6	231	13.8%	16.0%

※特別支援 A…個別の指導計画を策定している園児

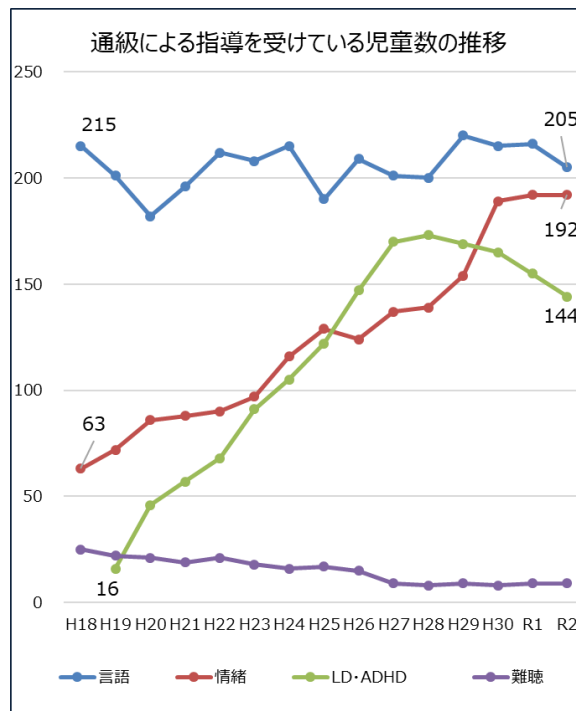
(2) 市立小学校においても、年々特別な教育的支援が必要な児童が増加

特に、特別支援学級在籍者（知的、自閉症・情緒学級）が著しく増加している。

(ア) 特別支援学級在籍者の推移



(イ) 通級による指導を受けている児童数の推移



(3) 市立幼稚園における通級指導教室の設置状況

(ア) ことばの教室

構音や吃音など、ことばの課題の改善を図ることで心と体の望ましい成長と発達を促すことを目的に、熊本市在住の年長児を対象として通級指導を行っている。

平成30年度から熊本五福幼稚園は民間移譲となり、ことばの教室については引き続き同敷地内にて「向山幼稚園五福ことばの教室」として市の直営で実施している。

○設置園 碩台幼稚園、向山幼稚園

○対象 構音や吃音など、ことばの発達に課題のある5歳児

○定員 120人（五福84人 碩台36人）

○指導形態 実態に応じて個別指導・少人数指導（指導時間は80～90分）

○指導者 10人（五福7人・碩台3人）

○実績 ・令和3年度（2021年度） 161人（五福113人・碩台48人）（5月1日現在）

・令和2年度（2020年度） 120人（五福84人・碩台36人）

・令和元年度（2019年度） 120人（五福84人・碩台36人）

・平成30年度（2018年度） 122人（五福86人・碩台36人）

(イ) あゆみの教室

令和元年（2019 年）4 月に川尻幼稚園にあゆみの教室を開級し、学校教育を見据えた指導を行うとともに、円滑な移行を促すことを目的に、集団参加や人とのかかわりなどに不安のある熊本市在住の年長児を対象として通級指導を行っている。

- 設置園 川尻幼稚園（平成 31 年（2019 年）4 月開級）
- 対 象 行動及び情緒等に課題のある 5 歳児
- 定 員 24 人
- 指導形態 実態に応じて個別指導・少人数指導（指導時間は 80～90 分）
- 指導者 3 人
- 実 績
 - ・令和 3 年度（2021 年度） 32 人（5 月 1 日現在）
 - ・令和 2 年度（2020 年度） 24 人
 - ・令和元年度（2019 年度） 22 人

3 本市の基本的考え方

市立幼稚園は、私立幼稚園や認定こども園等と連携を図りながら、子ども一人一人にとって望ましい教育環境の整備や今日的課題に対応し、熊本市教育振興基本計画の基本理念とする「豊かな人生とよりよい社会を創造するために、自ら考え主体的に行動できる人を育む」学校教育の始まりとして、特別支援教育の推進や小学校との円滑な接続、幼稚園教諭等の資質向上等への取組を強化し、本市全体の幼稚園教育の充実を図る。

4 検討の方向性

平成 28 年度（2016 年度）に策定した「熊本市立幼稚園基本計画」に定めた基本方針（※）の更なる推進を基本とし、公立の教育機関としての役割を果たしていく。

※「コア幼稚園」としての機能強化

子ども一人一人の自立や社会参加に向けた特別支援教育の推進、適切な指導及び必要な支援を行う幼稚園教諭等の資質向上や小学校以降の連続した学びにつながる幼小連携の取り組みの推進において、地域の拠点施設としての役割を果たす。

【1】市立幼稚園における特別支援教育の充実について（特別な教育的支援が必要な子どもを受け入れていくための方策）

- 視点① 特別支援学級等の設置
- 視点② 通級指導教室の設置拡充
- 視点③ 幼児教育施設、児童発達支援事業者等との役割分担と連携
- 視点④ 預かり保育の延長

【2】幼小連携の推進について（幼小連携の効果的実践及び先駆的研究とその成果を広く発信していくための方策）

視点① 幼小連携カリキュラムの推進と実践活用

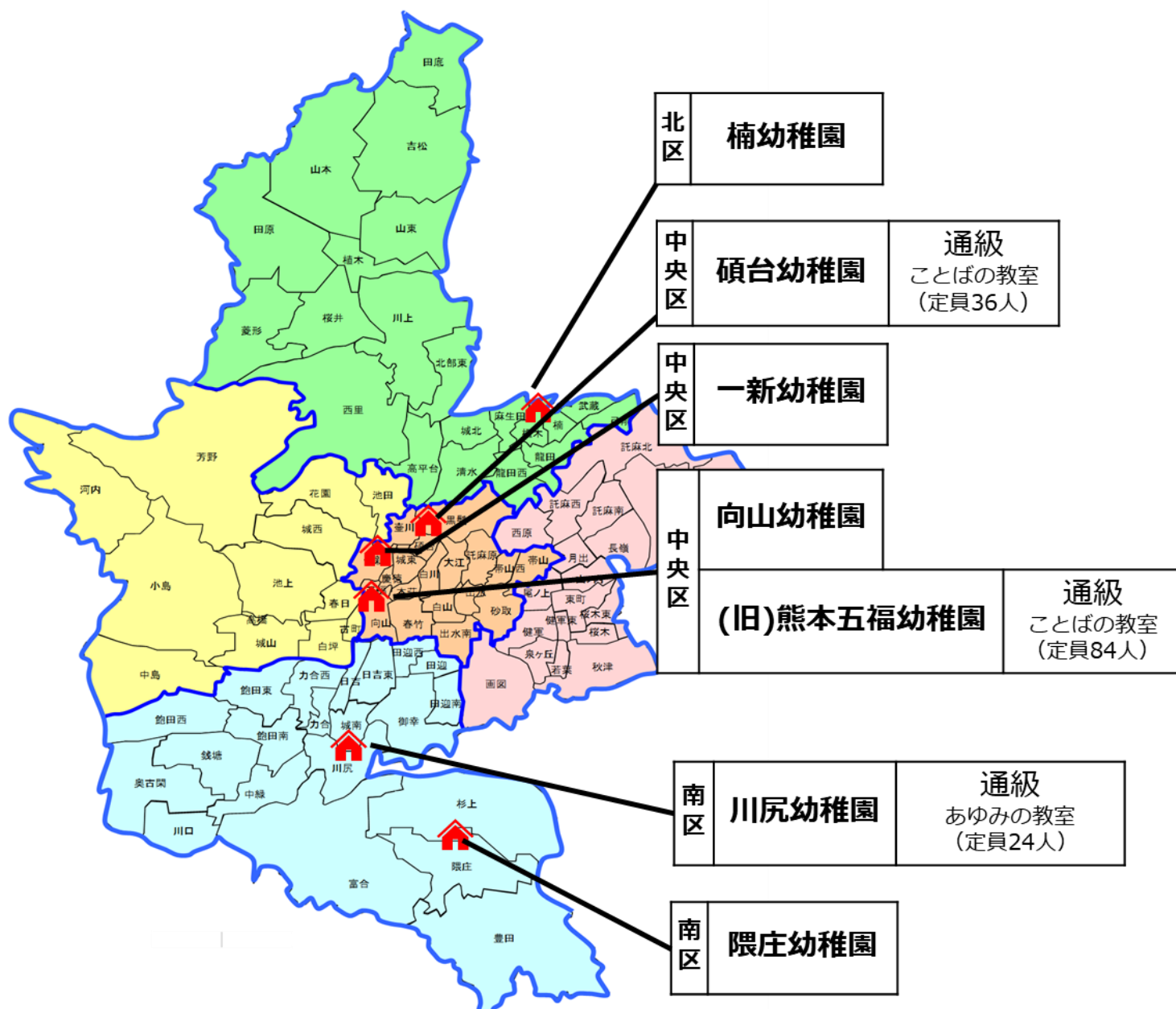
視点② 特別な支援が必要な子どもの円滑な接続と小学校との連携のあり方

【3】幼稚園教諭等の資質向上について（公私や幼児教育施設の種別に関わらず、よりよい教育環境を提供するための幼稚園教諭等の資質向上）

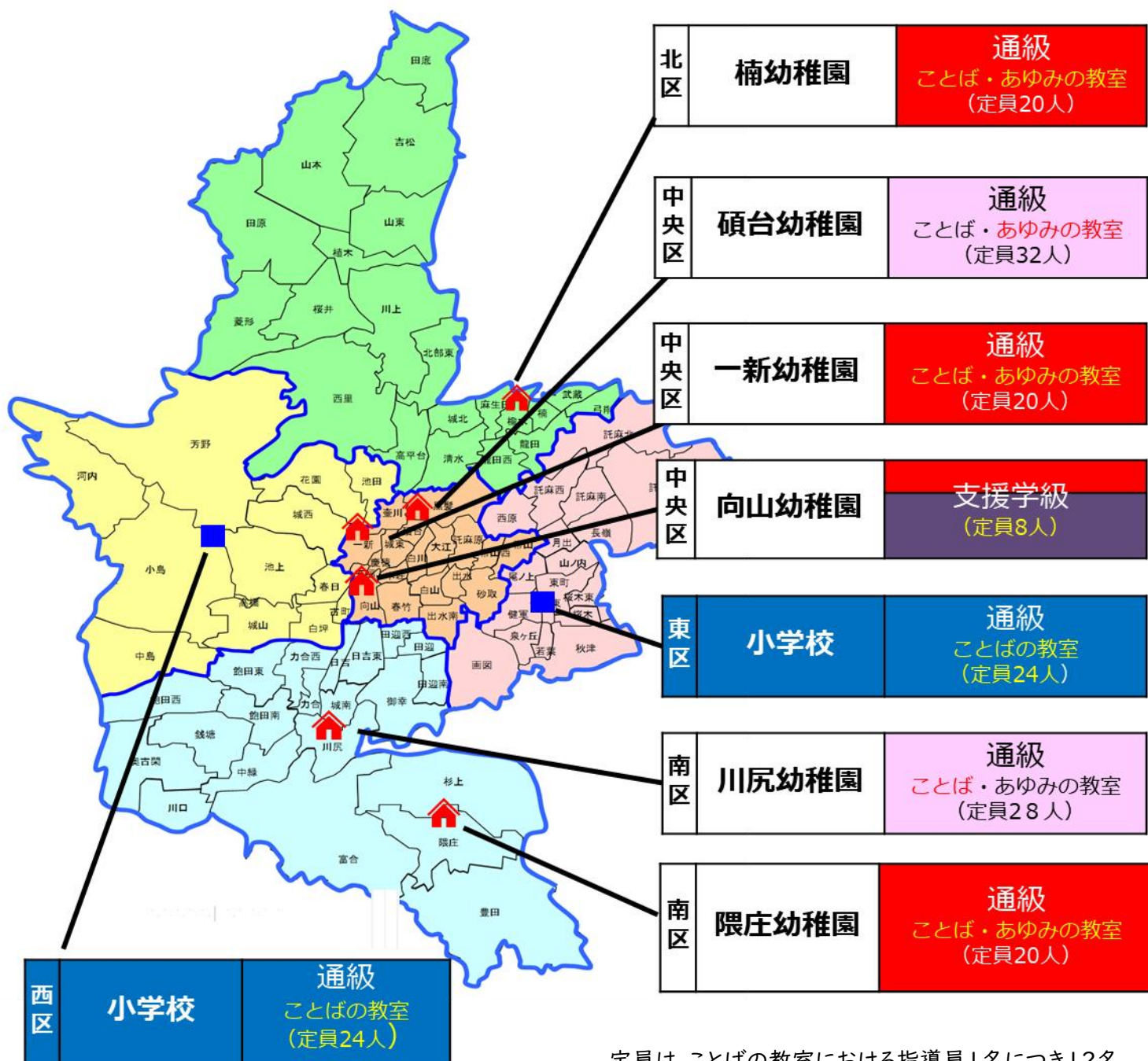
視点① 幼稚園教育要領の理解と幼児期の終わりまでに育ってほしい姿を踏まえた指導

視点② 特別な支援が必要な子どもたちに対する幼稚園教諭等の理解促進と指導力向上

現状



方向性案



定員は、ことばの教室における指導員1名につき12名、
あゆみの教室における指導員1名につき8名として試算した

- ・幼稚園の空き教室等を活用し 通級教室を設置
- ・小学校施設を活用し 全ての区に通級教室を設置
- ・向山幼稚園には 特別支援学級を設置

市立幼稚園における特別支援教育の充実にに向けた「保護者アンケート」

特別な教育的支援が必要な子どもの保護者ニーズを把握し、さらなる特別支援教育等の充実に図るために、保護者アンケートを実施した。

■ 実施期間

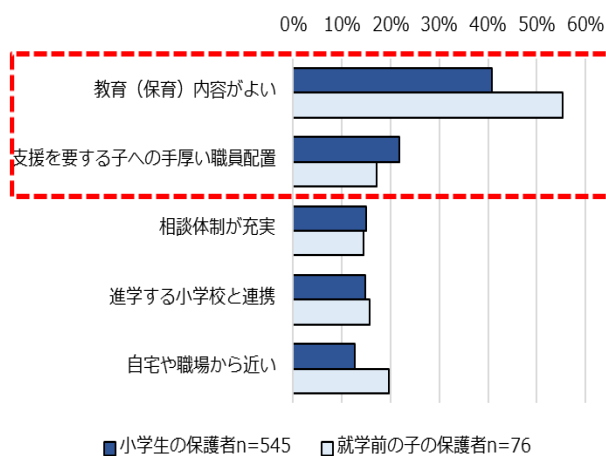
令和2年（2020年）8月31日～9月14日

■ 対象等

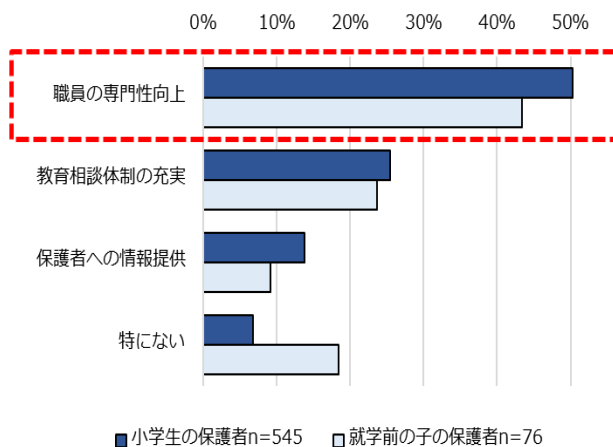
対 象	対象者数	回答者数	回答率
通級指導を利用する児童、特別支援学級、特別支援学校に在籍する児童の保護者	2,189 人	545 人	24.9%
ことばの教室、あゆみの教室、児童発達支援ルームを利用する園児、特別支援学級に在籍する園児の保護者	306 人	76 人	24.9%
合計	2,495 人	621 人	24.9%

■ アンケート結果（抜粋）

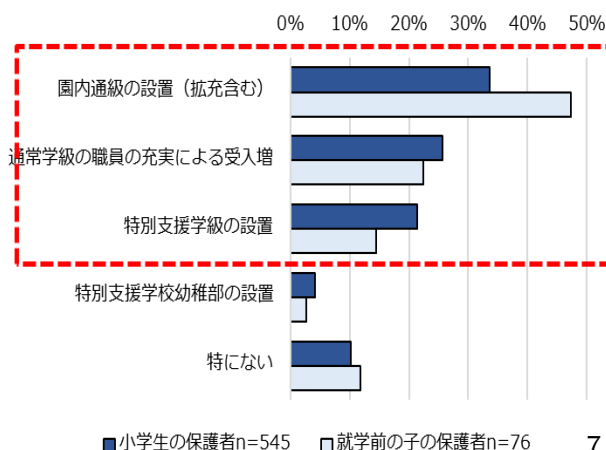
①入園を検討する際に重視したもの



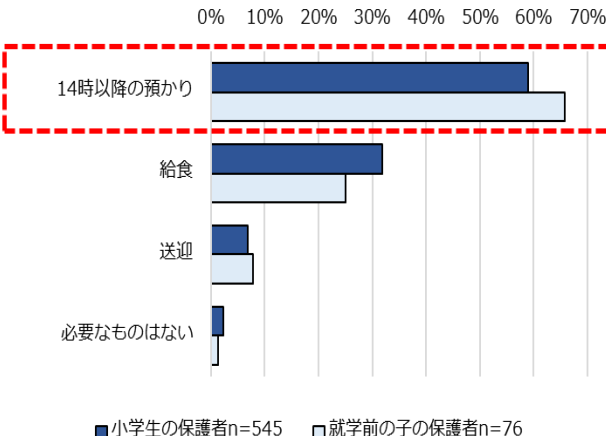
③特別支援教育の充実に図るために市に取り組んでほしいこと



②特別支援教育の充実に図るために市立幼稚園に求めること



④14時以降の保育や預かり、給食、送迎のうち、最も必要なもの



5 今後のスケジュール

時期	回数	内 容 等
5月	第1回委員会	・諮問 ・委員長・副委員長の選任 ・検討委員会の趣旨説明及び今後の進め方 ・市立幼稚園の現状と課題について説明
6月	第2回委員会	・市立幼稚園における特別支援教育の充実について ・幼小連携について
7月	第3回委員会	・幼稚園教諭等の資質向上について
8月	第4回委員会	・本検討委員会報告書(案)とりまとめ